

山形市

野草園だより 48号



シンボルマーク
原画 阿部功雲氏

ミズバショウ (サトイモ科)

花期 4月下旬～5月上旬

山形市野草園を代表する花で、園のシンボルマークにもなっています。白い花びらのように見えるところは、中の小さな花の集まりを包み込んでいる、葉が変化した苞^{ほう}と呼ばれる部分です。花の後は葉が大きくなり、80cm位になるものもあります。「ミズバショウの谷」では、ミズバショウとザゼンソウそれぞれ1万株が群生している様子を見ることができます。両方の花が混生しているところは県内外を問わず非常に珍しいそうです。

春と初夏に咲く植物たち



フクジュソウ 4月上旬～中旬 キンポウゲ科

雪解け後、いち早く咲き出します。福寿草や長寿草、元日草など縁起の良い名前が沢山あります。



カタクリ 4月下旬～5月上旬 ユリ科

種子から開花まで7年もかかるそうです。カタクリの球根から取ったでんぷんが本物の片栗粉です。



シラネアオイ 5月上旬～中旬 シラネアオイ科

日本特産の一属一種の植物で、多雪地の山地に生える多年草です。淡紫色の花びらに見える部分は萼片がくへんです。



ミヤマカスミザクラ 5月上旬～中旬 バラ科

ミヤマザクラとカスミザクラが自然交配した新種で、「世界に一つだけの桜」です。「ひょうたん池」の西側で見られます。



ヒメサユリ 6月上旬～中旬 ユリ科

名はサユリ（ササユリ）に似て小形であることに由来するようです。また、可憐な姿から別名オトメユリとも言われています。



エビネ 6月上旬～中旬 ラン科

数珠状に連なった地下茎が海老に似ていることからこの名がついたそうです。

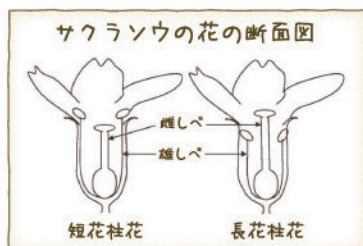
自然のたくみさ・ふしぎさ

サクラソウ 仲間を増やす工夫

サクラソウは北海道南部、本州、四国の川岸の原野または山間の低湿地に自生するサクラソウ科の多年草で、野草園では5月中旬から下旬にかけて「クリンソウの谷」の西側で咲きます。このサクラソウには株ごとに雌しべが短く、雄しべが長い短花柱花と、雌しべが長く、雄しべが短い長花柱花の2つの異なるタイプの花があります。短花柱花の雄しべと長花柱花の雌しべ、長花柱花の雄しべと短花柱花の雌しべは同じ高さにあるので、昆虫が花の蜜を吸いに来た場合、細長い舌の先に長花柱花の花粉が付着し、舌の根元に短花柱花の花粉が付着するため、次の花に移動した時には異なるタイプの花の雌しべに花粉が付着し、受粉が行われます。



サクラソウの花



このように同花受粉を避ける仕組みになっていて、異なるタイプの花の間で受粉が行われることで種子をつくり、自分の仲間を増やす工夫をしています。他のサクラソウ属の植物も同じ仕組みになっているそうです。

日本に自生しているサクラソウ科の植物の中で最も大型のクリンソウが5月下旬から6月中旬にかけて「クリンソウの谷」で見頃を迎えます。花が数段輪状に咲く姿を寺院の塔の頂上部にある九輪くりんにたとえて名づけられたそうです。



サクラソウ（5月中旬）



クリンソウ（5月下旬）

切手にデザインされた植物

平成27年2月2日に日本郵便から新しいデザインの普通切手が発売されました。これまではニホンミツバチやオシドリなど、主に飛行する昆虫や鳥類が描かれていましたが、新デザインでは「日本の自然」をテーマに、絶滅が危惧されている動植物や国立公園の絵柄などが採用されています。

山形市野草園では、新デザインに採用されている日本の植物を観察することができます。



ソメイヨシノ (52円切手)

バラ科【4月下旬～5月初旬】

エドヒガン（別名ウバヒガン、アズマヒガン）とオオシマザクラの交配種と考えられている落葉高木です。接ぎ木や挿し木で増やします。枝は四方に広がり、葉より先に淡紅白色の花を開きます。

ウメ (82円切手)

バラ科【5月上旬】

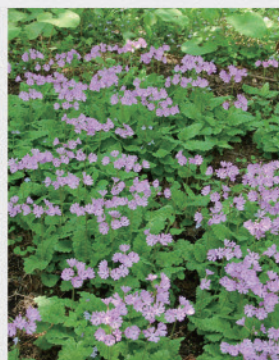
中国原産ですが、古代から日本で植栽されている落葉高木です。葉より先に花を開きます。花柄はほとんどありません。花は通常白色ですが、紅色や淡紅色のものもあります。



スミレ (92円切手)

スミレ科【5月上旬～中旬】

山野や道端の日当たりの良い場所に生える多年生草本です。茎はなく、葉とほぼ同じ高さの花柄を出します。濃紫色の花を横向きに開き、唇弁には紫の筋があります。



サクラソウ (100円切手)

サクラソウ科【5月中旬～下旬】

山間の低湿地に自生します。環境省レッドリストで準絶滅危惧種に指定されており、山形県では平成26年に自生地のサクラソウが消滅し絶滅と判定されました。花の形がサクラに似ています。



フジ (120円切手)

マメ科【5月中旬～下旬】

山野に生えるつる性の落葉低木です。フジのつるは右巻きに、ヤマフジは左巻きに巻きつきます。蝶形花を多数つけ、花後に大きく平たい豆果をつけます。

ヤマブキ (140円切手)

バラ科【5月中旬～下旬】

山間に生える2mほどの落葉低木です。4cmぐらいの散りやすい花をつけます。太田道灌の逸話の歌に出てくるのは果実をつけないヤエヤマブキで、本種は果実をつけます。



ニホンカモシカ(50円切手)

ウシ科

国の特別天然記念物であり、山形県の県獣にも指定されています。短い角があります。崖地を好み、野草園周辺にも生息しており、遭遇するところらをじっと見つめます。主食は木の葉や芽、樹皮などです。



第21回

写真コンテスト 入賞作品

一般の部 **最優秀賞**



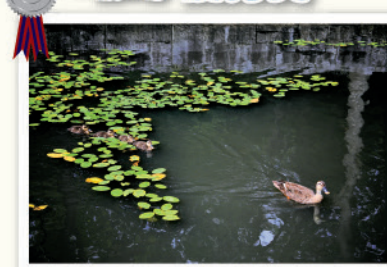
羽を休めて 渡邊雅雄さん

一般の部 **優秀賞**



静止 田代功さん

一般の部 **優秀賞**



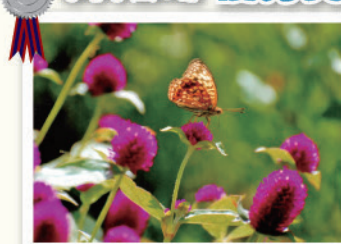
整列 山川祐幸さん

小中学生の部 **最優秀賞**



空へ羽ばたく一瞬 足達まことさん

小中学生の部 **優秀賞**



ピクニック 菅原智里さん

小中学生の部 **優秀賞**



芸術の秋 菅原正登さん



第21回 山形市野草園写真コンテストの審査を終えて

審査員代表 阿部直美

「自然と人間の共生」をテーマとして平成5年に開園した野草園の歴史と共に歩んできました野草園の魅力を探る写真コンテストも21回目を迎えました。今回の応募者数、応募点数は、ともに昨年より多く、一般の部では15人増の65人から77点増の252点、小中学生の部では9人増の16人から21点増の54点の応募がありました。うれしい限りです。

一般の部で最優秀となった渡邊雅雄さんの「羽を休めて」は、アサギマダラを大きく画面の真ん中に捉えた作品ですが、チョウの背景の緑色の植物の葉に射す光りと羽に写るフジバカマの花のシルエット、そして鮮やかなチョウの羽の色彩が見事に表現された優れた作品です。

優秀賞の田代 功さんの「静止」は、コバギボウシのつぼみに止まったトンボを捉えた作品ですが、緑色の背景に浮かび上がるトンボとギボウシの藤色のつぼみの色調が柔らかく、静かな一瞬を捉えた日本画的な作品で、露出、ピントとも優れた作品です。

また、同じく優秀賞の山川祐幸さんの「整列」は、ひょうたん池の水面を泳ぐカルガモの親子を捉えたものですが、暗い水面に浮かぶジュンサイの葉とカルガモの親鳥と子供たちを絶妙な位置で捉えています。アンダー気味にした露出、シャッターチャンスに恵まれた作品です。

小・中学生の部の最優秀となった足達まことさんの「空へ羽ばたく一瞬」は、ハルジオンに止まっていたウスバシ

ロチョウが飛び立つ一瞬を捉えたものですが、画面一杯に花とチョウを写し込んだ力強い作品です。シャッタータイミングも優れた作品です。

優秀の菅原千里さんの「ピクニック」は、紅いセンニチコウに止まったヒヨウモンチョウを撮ったものです。秋の穏やかな日はチョウもピクニックに行きたくするという撮影者のやさしい視点が写真に表現されています。

同じく優秀の菅原正登さんの「芸術の秋」は、紅葉に染まった一本のオオヤマザクラと背景の青空を画面上に大きく取り込み、それを写す人物を入れて撮った作品です。秋の爽やかさと共に自然の雄大さが表現された優れた作品です。

全体的に花や野草、それとチョウ等をアップ気味に捉えた作品が多かったのですが、植物図鑑、昆虫図鑑の写真になることなく「自然と憩いと安らぎ」を求めて野草園を訪れる人々と自然の触れ合いの姿を皆さんの感性で撮影していただきたいと思います。また、日付の入った応募作品が見受けられましたが、応募の際は日付を外していただきたいものです。

最優秀をはじめ、入賞されました皆さん、おめでとうございます。これからも野草園の魅力を皆さんの目で引き出していただけるような、素晴らしい作品創りに励まれますようご期待いたします。

催しもの スナップ



▲木工工作教室



▲プリザーブドフラワー教室



▲ハーブリース作り

お知らせ

平成27年度の開園は、4月1日(水)です。

※3月28日(土)、29日(日)にプレオープンします。

●主な催し 展示

- 野草園写真展(紅の蔵)
⇒4/1(水)～4/19(日)
- ウィンドーディスプレイ展示
(中央駐車場東側)
⇒4/1(水)～4/30(木)
- 春の山野草展
⇒5/3(日)～5/5(火)
- エビネ展
⇒5/23(土)～5/31(日)
- 西藏王の風景画展
⇒7/18(土)～8/23(日)
- 東南北3県ポタニカルアート作品展
⇒9/6(日)～9/23(水)
- 第21回写真コンテスト入賞作品展
⇒6/6(土)～7/12(日)
- 第22回写真コンテスト入賞作品展
⇒10/12(月)～11/23(月)

観察会

- ガイドウォーキング
⇒4月～11月まで毎週日曜日、
祝日、5月と9月の毎週土曜日
- 四季観察会
⇒5月中旬、7月中旬、10月下旬、
平成28年2月中旬、3月中旬
- ホテル観察会
⇒6/25(木)～6/28(日)、7/2(木)～
7/5(日)

- 西藏王観察会
⇒5月、9月
- 星空を見る会
⇒8月、9月
- 早朝バードウォッチング
⇒4月中旬、11月上旬

体験教室

- ミニSL運行
⇒5/2(土)、5/3(日)、9/19(土)、9/20(日)
- 乗馬体験
⇒5/3(日)、5/5(火)、9/20(日)
- 山野草の育て方教室
⇒4/26(日)、9/22(火)
- エビネの育て方教室
⇒5/24(日)
- オキナグサ講習会
⇒6/6(土)
- ガーデニング教室
⇒6/20(土)
- ラベンダースティック作り
⇒7/26(日)、8/2(日)
- 紅花染め
⇒7/25(土)
- 木工工作教室
⇒7/25(土)、8/1(土)、8/8(土)
- プリザーブドフラワー教室
⇒9/5(土)
- ポタニカルアート体験講座
⇒9/12(土)
- 新そばのそば打ち体験
⇒10/3(土)、10/10(土)

- ハーブリース作り
⇒10/11(日)
- 工作コーナー
⇒7/28(火)～8/23(日)

コンテスト

- 野草園の魅力を探る写真コンテスト
⇒募集期間：9/1(火)～9/25(金)

その他

- 春の野草園祭り
⇒5/2(土)～5/6(水)
- 秋の野草園祭り
⇒9/19(土)～9/23(水)
- やまがた舞子撮影会
⇒5/2(土)
- 餅振舞い
⇒5/2(土)、9/23(水)
- ウサギふれあいコーナー
⇒5/5(火)
- 瀧山太鼓演奏
⇒5/4(月)
- コンサート
⇒5/4(月)
- 焼き栗振舞い
⇒9/19(土)
- 焼き芋振舞い
⇒10月

※都合により内容・日程の一部が変更になる場合があります。

この花を 探せ!



見つけれ
るかな?



リュウキンカ
(開花時期 4月)



アズマシャクナゲ
(開花時期 5月)



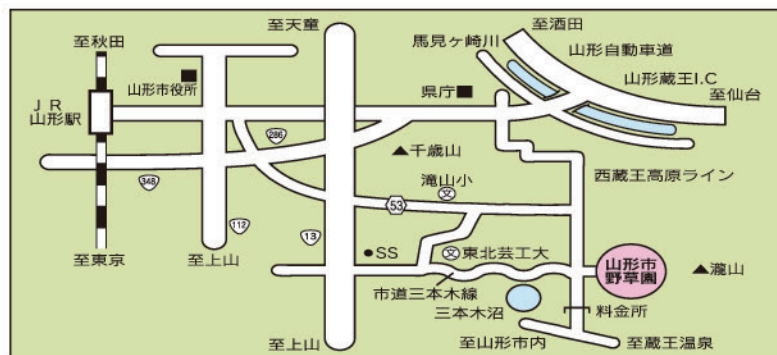
サラサドウダン
(開花時期 5月)

《開園時間等》

- 開園時間
4月～5月 9:00～16:30
6月～8月 9:00～18:00
9月～11月 9:00～16:30
- 休園日/毎週月曜日
ただし、月曜日が祝日・休日の場合はその翌平日
※4月の第3月曜日から6月の第2月曜日まで休まず開園します。
- 冬期間休園/12月～3月
- 入園料
大人/300円
高校生以下/無料
◆団体割引(20人以上の場合)
大人/240円
高校生以下/無料

《交通案内》

- JR山形駅より山形交通路線バス西藏王・野草園行き終点下車(約30分)
- 山形自動車道蔵王I.Cより西藏王高原ラインを蔵王温泉方面へ15分
- 滝山小、芸工大方面より岩波経由又は、ヒルズサンピア方面より市道三本木線経由で国道13号線から自家用車15分



野草園だより

編集・発行/山形市野草園



48号/平成27年3月発行(年2回発行)
〒990-2406 山形市大字神尾832番地の3
TEL 023(634)4120・FAX 023(634)4121

◀野草園のホームページ▶
<http://www.yasouen.jp>